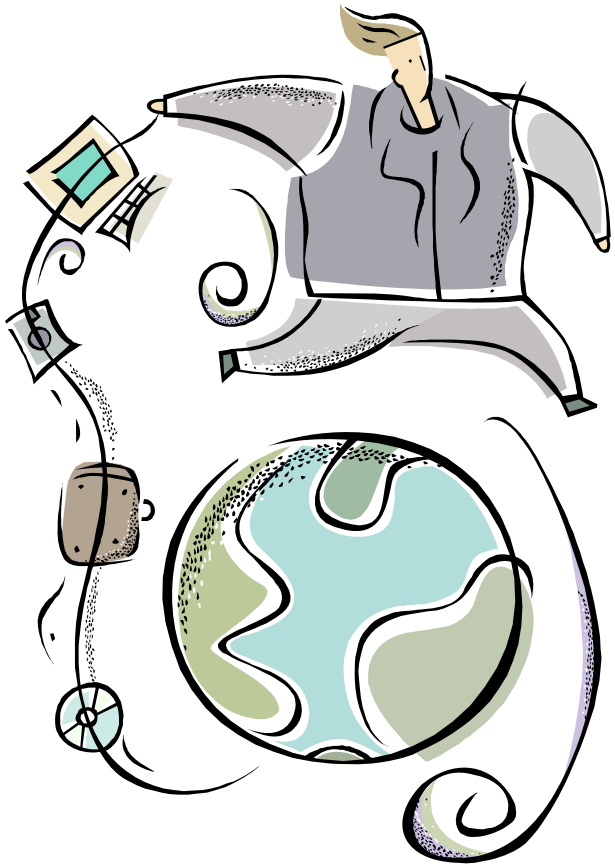
子どもと一緒に話し合っておきたいこと

情報モラル



北海道立教育研究所附属情報処理教育センター

「日常モラル」を土台とした「情報モラル」

情報モラル～情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度

情報モラルも、基本的には日常モラルと何ら変わりありません。

日常生活においても、「人が嫌がることはしない。」「人に迷惑をかけない。」「人のものを盗まない。」「人を傷つけない。」など、「してはいけないこと」を家庭や学校で教えています。インターネット社会においても同じです。

インターネットは、文字情報や写真、動画、音楽などを媒体に、人とモノ、人と人とがつながっています。

しかしインターネットの世界では
・直接相手と会わなくてもコミュニケーションがとれる反面、表情や気持ちが見えづらく、伝わりにくい。
・電子データはコピーし改変しやすいため、著作権、肖像権の侵害等がおきている。
・コンピュータウイルスを作成、攻撃し、相手のデータを消失させたり、なりすましの被害がおきている。
・匿名で人が嫌がるようなメールを送ったり、誹謗中傷したりする。
などといった様々な問題が生じてきています。その結果、人の心や体が傷ついたり、財産を失ったりすることが多々見受けられます。

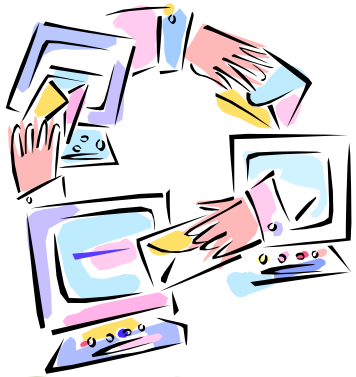
現在、子どもたちが普通に携帯電話を持つ時代となりつつあります。今の携帯電話はただの「電話」ではなく、手軽にインターネットに接続できる情報通信機器になっています。手軽で、持ち運ぶことが簡単なパソコンとなっているわけです。

思考・判断が未熟な子どもたちが、大人も子どもも区別なく参加でき、有害な情報も含め様々な情報が氾濫しているインターネットの世界に参加しているのが、今の現状です。思考・判断が未熟な子どもたちが、有害な情報に触れたりしたら大変危険です。

インターネットの世界を正しく渡り歩く知恵と心を磨く一歩となればと考え、本資料を作成しました。特に携帯電話を持つ前、また持った後も継続的に本資料を活用しながら、保護者と子どもが語り合い、インターネット社会の在り方について考えていただけたらと思っております。

○相手の気持ちは大丈夫？

文字情報だけでは、表情や感情は伝わりにくい。



誤解やトラブルを招く送信内容になっていないだろうか…

送信した内容は、相手を嫌な思いにさせないだろうか…

自分が言われて嫌なことは相手にも伝えない！

送信する前に一歩踏みとどまって内容を見直し、
本当にその内容で送信してよいかを考えよう！

○発信する情報は大丈夫？責任をもてますか？

インターネットでは世界中の人々が閲覧している。
自分が発信した情報もたくさんの人々が見ているかもしれない。

発信した内容に間違いはないだろうか？

自分のせいで相手を困らせるようなことはしていないだろうか？

間違った情報を送信し、相手に迷惑をかけたので訴えられるかもしれない!?

発信する前に情報をよく確認しよう！

相手の立場になって、自分が責任をとれる行動をしよう！

○ネットワーク上で知り合った人を信じても大丈夫？届いたメールの内容を信じても大丈夫？

さまざまなサイトで知り合った相手やメールにだまされて被害に遭うこともある。

相手は年齢、性別などを偽装し、なりすましているかも…

誤った情報を送りつけてきているかも…（チェーンメール、勧誘メールなど）

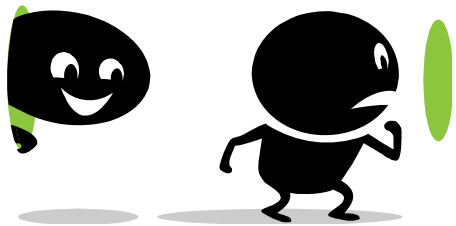
ネット上の知り合いとは会わないようにしよう！

困った時は、近くの大人（保護者、教師）に相談しよう！

チェーンメールは転送しないようにしよう！

○インターネット上の情報や広告メールは信じても大丈夫？

インターネット上の情報は、真実の情報と偽りの情報が存在する。誤った情報を信じ、被害を受けたり、被害を与えたりする場合もある。

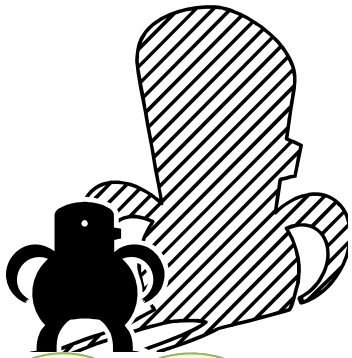


身に覚えのないメール、広告メール、勧誘メールなどは開かずに削除しよう！または保護者に相談しよう！

情報の信憑性は他の情報と比較、または身近な大人に確認しよう！

○明らかに年代にふさしわしくない情報を閲覧しても大丈夫？

インターネットの世界に飛び出せば、そこは大人も子どもも区別はされない。そして昼も夜も区別のない世界である。そして子どもたちにとって有害な情報も存在する。



判断力の未熟な子どもが有害情報に触れ、健全な育成に支障をきたすかも…

有害情報に手を伸ばしてしまったことにより、リアルの世界で問題が発生するかも…（薬物、いじめ、差別、わいせつ画像など）

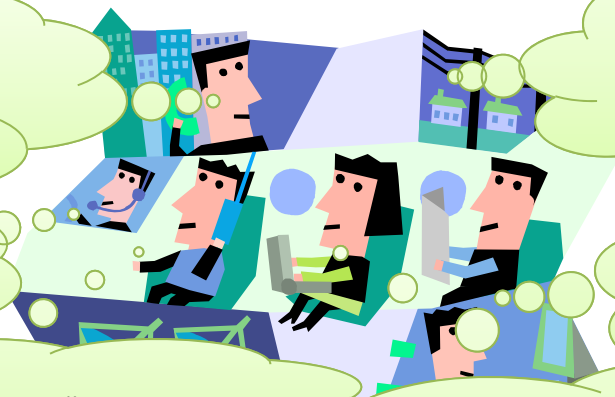
ソフトウェアによるフィルタリングをかけましょう！

保護者の目によるフィルタリングをかけましょう！

子どもの心のフィルタリングを育てましょう！

○簡単に個人情報を公開しても大丈夫？

個人情報（名前や住所、生年月日、電話番号、IDやパスワードなど）の漏洩により、架空請求や詐欺などでの被害、またなりすましなど悪用される可能性がある。



占いサイトで、性別、生年月日、氏名などを入力…

相性占いで、相手の氏名、生年月日などの入力…

アドレス占いで、アドレスを入力…

SNSで、チャット相手から…

オークションやショッピング…

ブログ、プロフ、リアルで自分の所在がわかるような写メ、個人情報…

自分の情報は自分で守りましょう！

同様に相手の情報も守ってあげましょう！

○その作品や写真は大丈夫？

音楽、映画、小説、ソフトウェアなどの創作物には、無断で作品を利用（コピーやインターネットで送信することなど）させない権利（著作権）がある。また、人には自己の肖像権、プライバシーが守られる権利がある。

携帯で気軽に写メ…

インターネット上での違法ダウンロード…

インターネット上に違法にアップロード（無断掲載）…

違法ダウンロード・アップロード（無断掲載）は処罰される！
他人を誹謗中傷したり、プライバシーなど人権を侵害したりすると罪になったり、訴訟になったりすることも！

著作権、肖像権、プライバシーを
侵害しないようにしよう。

○コンピュータウイルス対策は大丈夫？

コンピュータウイルスは、インターネットや電子メールなどから感染する。感染し、例えば感染したままメールを送付すると相手にも感染し迷惑をかけてしまうことになる。

多大な損害を受ける前に、最新のウイルス対策をしっかり行っておくようにしましょう！

○長時間インターネットの世界にはまっていて大丈夫？

長時間、コンピュータや携帯に向かうことで、人間関係が希薄になったり、心身の健康が悪化したりするなど様々な問題が生じてくる。

寝食も惜しまず、長時間、インターネットの世界に…

現実世界における生活体験、自然や社会体験など直接体験を増やしましょう！

インターネットをするときの場所や時間を決めましょう！

発達段階に応じた使用ルールの徹底をしましょう！